

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和7年度) 2025年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	1	27	火	8:15	14:20	太田ヶ谷の森	3
活動名称	小彼岸桜引き渡し、銀杏防御竹設置等					報告者: 小沼	

<活動目的>

太田ヶ谷への進出企業（日本冷結乾燥研究所）に小彼岸桜苗を提供する。

1月7日新年会の後に銀杏苗を太田ヶ谷の森に植樹したが、今後の草刈りに備え防御竹の設置が必要であった。

<主な活動内容>

- 日本冷結乾燥研究所へは、1月27日（火）9時に30本の小彼岸桜苗を提供するとしていたので、太田ヶ谷の森のサッカーフィールド横の桜苗床よりプラスティックポットを掘り出し、剪定終了後研究所の岡本部長および造園業者に引き渡した。
- 銀杏苗の防御竹を設置するため、太田ヶ谷の竹林から残材を調達し、13本の二脚鳥居の銀杏苗に4本の防御竹を設置した。
- 逆木倉庫の製材板にひび割れが生じていたため、カスガイを打ち込み、木工ボンドを塗布した。

<課題・評価>

- 太田ヶ谷への進出企業へ敷地の外構として小彼岸桜を初めて提供することができた。
- 今年の6月6日の環境祭りには市内の大手企業であるIHIやデンソーも参加しているので日本冷結乾燥研究所にも参加を検討できないか依頼し、また、太田ヶ谷の森での各種イベントの情報提供も継続することを伝えた。
- プラスティックポットに入れた桜苗は直ぐに引き出せるものと思っていたが、2年を経過した根はポットを突き破り四方に張っていたため取り出しに苦労した。

<里山参加会員>

柳川、橋本、小沼

<活動写真>

